



謎がいっぱい 縄文時代 に魅入る

約6500年前、縄文時代前期には海が現在の蓮田市内にまで達していました。海を臨む高台には集落が作られ、狩猟をしたり、魚や貝、植物や木の実などを採取したりして暮らしていました。人々の営みの面影は今も黒浜貝塚や綾瀬貝塚など数多く残されていて、市内各地で見ることが出来ます。蓮田市文化財展

示館には関山式土器や黒浜式土器の他、旧石器時代や古墳時代、奈良・平安時代の出土品から現代の資料までさまざまな文化財が展示されています。まちの中に縄文時代の不思議が数多く残る蓮田市。土器の文様や、土偶に込められた縄文人の心や願いを知ると感動に出会えます。

黒浜貝塚に入り込んだ海の様子がみられるよ



蓮田の歴史がひと目で分かる!

蓮田市文化財展示館

蓮田市内で見つかったものや市民の皆さんから寄贈いただいたものなど実物を中心に展示している資料館です。VRなどの設備もあり、蓮田市の旧石器時代から現代までが分かりやすい形で展示されています。小学生向けの歴史講座や保育園の遠足など子どもたちの学びの場としても親しまれています。

縄文人たちの暮らしに触れる

黒浜貝塚 国指定史跡

市役所南側に広がる黒浜貝塚は縄文時代前期の貝塚を伴う集落遺跡です。考古学的価値と貴重な自然環境が残されていることから、国の史跡に指定されています。貝塚内からは貝だけでなく動物の骨や土器、装飾品なども数多く出土していて当時の生活を垣間見ることができます。

イチオシ展示品

関山式土器・黒浜式土器

縄文土器は時期や地域によって異なる特徴ごとにグループ化され、初めて見つかった遺跡名をとって名前がつき、時期区分の指標になります。関山式土器は、羽状縄文と呼ばれる鳥の羽のような文様が特徴の土器です。また、黒浜式土器は、関山式土器と比較して、羽状縄文によって描かれる菱形をより強調していることが特徴の土器です。関山式土器は約6500年前頃、黒浜式土器は約6000年前頃に作られていました。



黒浜式土器



関山式土器



地面に貝が埋まっています



Close Up!

当時はここまで海だった!

綾瀬貝塚 県指定史跡

元荒川の右岸において最も奥に位置する縄文時代前期の貝塚で埼玉県の史跡に指定されています。現在は貝塚神社の境内となっていて2基の鳥居と社殿が建っていますが、境内には今でも当時のものと思われるヤマトシジミなどの貝殻が多数残されています。

The Fascinating Mysteries of the Jomon Period

Roughly 6,500 years ago, in the early Jomon period, Tokyo bay reached as far as Hasuda City. The people then built settlements on high grounds facing the sea. They spent their lives hunting and gathering fish, shellfish, plants, and fruits. Traces of the lives of these people remain today in such sites as the Kurohama Shell Mound and Ayase Shell Mound, and can be viewed throughout the city limits. A variety of cultural assets are on display at the Hasuda City Historical Museum, including Kurohama and Sekiyama Type Pottery, as well as Paleolithic age artifacts and artifacts from the Kofun, Nara, and Heian periods, and even items from modern times. Numerous mysteries from the Jomon period remain throughout Hasuda City. Experience their delights as you learn of the hearts and hopes that the Jomon peoples instilled in their clay figurines.